

vol.016 OCTOBER, 2019. [株式会社正文舎] 会社案内

with
SBS

※SBSは、正文舎（SyouBunSyaの略です）

《連載》
正文舎の制作事例
Review of CREATION

《今回のお客さま》
株式会社
キッチンワークス様



正文舎のアレやコレ。

今月のキーワードは「P」

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**
PRINT~印刷と正文舎。

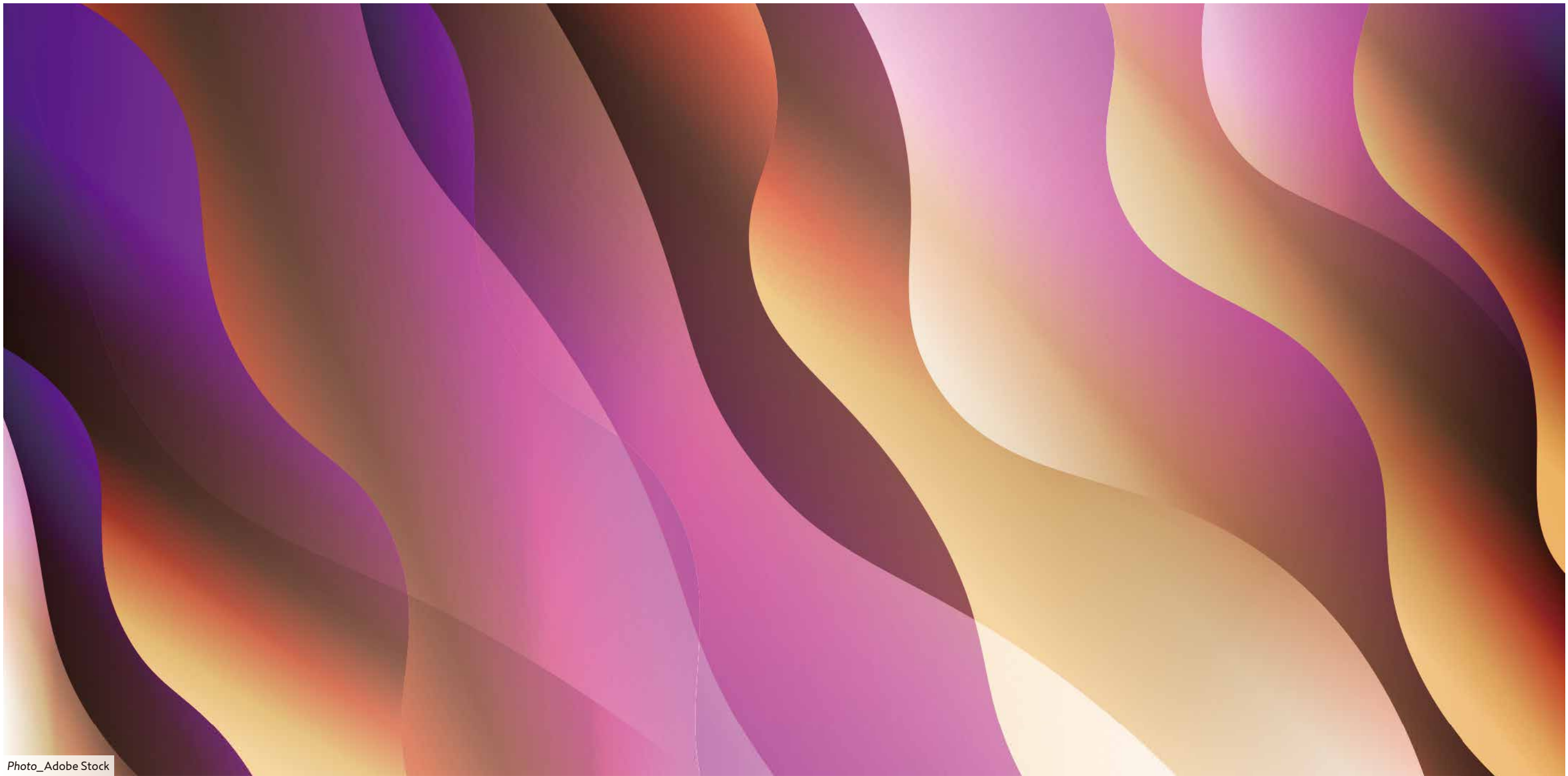
TOPICS ————— 創業85周年記念グッズ

New&Goods ————— ものごとを「見える化」する

Focus on JAPANESE ————— 役割語



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。
バックナンバーもこちらから。



Photo_Adobe Stock

「株式会社 正文舎」**A** to **Z**

PText_Narita Sadayuki R I N T

印刷と正文舎。

print [動詞] …を印刷する、刷る

令 和元年5月1日。正文舎は創業85周年を迎えました。
1934（昭和9）年に正文舎印刷所として、謄写印刷・石版印刷からスタート。それから時代のニーズに合わせて印刷方式を変えながら、現在のオフセット印刷に至るまで、85年間一貫して印刷と向き合ってきました。

2006（平成18）年にカラーデジタル複合機を導入し、短納期・小ロットの印刷物という21世紀に入ってから印刷の「新しい潮流」であるデジタル印刷にも対応。印刷機の性能の進化やお客さまのニーズに合わせて、何度か入替を行い、現在は、本誌も印刷しているRicoh Pro C7200sが3台と1台のRicoh Pro C9200が稼働しています。（本誌Vol.005／Vol.006のTOPICSを参照）



1969(昭和44)年 7月に開催された第2回印刷展のようす

従来の印刷方式であるオフセット印刷は、デザイナーやオペレータがPCで制作したデータを刷版機に送り、面付けソフトを使って面付け^{※1}したデータを刷版（PS版^{※2}）に画像として焼き付け、その刷版を印刷機に取り付け、インキを載せ紙に転写（印刷）します。

オフセット印刷は、菊全判^{※3}印刷機なら両面でA4判が16ページ、菊半裁^{※3}印刷機なら8ページが一気に印刷できて効率がいいので、ページ数が多かったり、部数が多い案件に向いています。しかし工程上、印刷物が仕上がるまでには一定の時間が掛かります。

それに対し、デジタル印刷は、PS版を出さずに、制作したデータをPCから直接デジタル印刷機に送り印刷をします。PS版を作成し出力する工程がないので、オフセット印刷に比べ、短時間で印刷物が仕上がります。

また、Ricoh Pro C7200sには、基本の4色に加え、スペシャルトナーとして、クリアトナーとホワイイトナーが設定されているので、

「白・金・銀」などの特色や「PP加工^{※4}」のような処理も比較的簡単にできるので、デザイン的な表現の幅が広がります。（本誌表紙のロゴマークはクリアトナーで印刷しています）

しかしながら、弊社に導入されているデジタル印刷機は、一度にA4判を両面で最大6ページ（片観音折り^{※5}の冊子）までしか印刷できなく、逆に時間が掛かってしまうので、ページ数や部数の多い印刷物には不向きと言わざるを得ません。デジタル印刷が「短納期・小ロット」＝「欲しい時に、欲しい数だけ」＝オンデマンド印刷（Print On-Demand）と言われる所以です。

このようにオフセット印刷、デジタル印刷それぞれにメリット、デメリットがあります。それらを考慮して、時代やお客さまのニーズにあった提案をさせていただきますので、これからも正文舎の印刷にご期待ください。

※1：面付けとは、刷版に対して印刷・断裁・製本加工の都合を考慮して、複数ページを配置していくこと。またはページを単数もしくは複数配置していくこと。

※2：PS版【presensitized plate】とは、アルミ製の板に親水性層を重ね、その上に感光性樹脂を塗布した平版印刷用の版。露光すると、光が当たった部分（作成したデータの透明（白色）な部分）の感光性樹脂が硬化する。露光後、光の当たらなかった部分の感光性樹脂は溶解除去され親水性層が露出する。印刷用インキは油性であるため、感光層にはインキが付き、親水性層が露出した部分にはインキが付かない。

※3：菊全判とは、断裁されていない紙（原紙）寸法で長辺939mm×短辺636mm。輸入され

た当初、菊花の商標が付いていたことからいう。菊半裁はその半分。短辺469×長辺636mm。

※4：PP加工とは、ラミネート加工の一種で、ポリプロピレン【Poly-Propylene】加工のこと。印刷された紙に接着剤を塗布してフィルム(Poly-Propylene Film)を圧着させる。雑誌・カタログの表紙や書籍カバーなどで使用される場合が多く、フィルムを貼ることによる表面の保護や光沢感の向上などが主な目的。

※5：片観音折りとは、三面ある一面を内側に折り、反対側の一面をかぶせるように折る折り方。巻き三つ折りともいう。

TOPICS

	O	『お	
	N	揃	
	E	い』	
	T	を	
	E	身	
	A	に	
	M	つ	
	に	け	
	。	、	

クリエイティブ研究室（本誌Vol.014「What's NEW!」参照）では、プロモーション・プロジェクトチームが、創業85周年を記念した社員向けオリジナルグッズを制作しました。

■ポロシャツ



左胸と背中には弊社のロゴマークが入っています。弊社は2016年に制服が廃止となり、1階の工場勤務の社員以外は、私服を着るようになったので、社員がお揃いの服を着るのは久しぶりのこと。ちょっと新鮮に感じます。このポロシャツを着て仕事をしたり、社外のセミナーに出かけたりしています。

北海道は半袖を着られる夏の期間が短いのですが、その間、毎日ポロシャツで出勤して毎晩洗濯をするという熱心な社員もいたようです。

また、先日このポロシャツを着てコンペのプレゼンテーションに臨んだ弊社が見事受注を勝ち取ったという嬉しい出来事もありました。

創業85周年記念グッズ

Text_Honma Kazumi / Photo_Himukai Atushi



■缶バッヂ

デザインはこちらもクリエイティブ研究室のメンバーが考案しました。社員にもファンが多い、公式キャラクター“ぶらねっとクン”も登場しています。

制作中、メンバーで話すうちに「中・高校生対象の『職場体験』で缶バッヂ作りを企画できるかも…」など夢が広がります。この他に、ノベルティではありませんが、「オリジナルトートバッグ」や「オリジナルTシャツ」などの企画も進行中です。



🔍 役割語

私がテニスに興味をもち始めたのは小学校低学年の頃です。どうしてもテニスラケットが欲しくて、毎月の僅かなお小遣いをコツコツ貯め（ほんの少し足りなかった分は、親が助けてくれましたが）、ついに当時2千数百円の軟式テニスラケットを手に入れる日が訪れました。それから来る日も来る日も壁打ち。中学生になって部活に入るのが待ち遠しかったのを覚えています。

テニスにはまった最大のきっかけは、当時テレビ放送されていたアニメ版「エースをねらえ!」※1です。私と同世代ならこれでテニスを始めた人は少なからずいるはず。この漫画の主人公 岡ひろみの憧れの人 竜崎麗華（お蝶夫人）は、みんな白のなかひとりだけパープルのテニスウェアを着、高校生なのに金髪縦ロール。その他にも、漫画ですからいろいろとありえないのですが、特に驚きなのがその言葉づかいです。たとえば、有名なこんなセリフがあります。

「追ってきなさいひろみ。あたくしは永遠にあなたの前を走る。あたくしはあなたより先に倒れたりしない。どんなに苦しくとも!」

セリフの内容もさることながら、高校の部活動でこんな言葉づかいをする先輩いますか。いや、部活動でなくても、自分のことを「あたくし」という人にはなかなかお目にかかれませんか。

けれども、私たちは妙に納得してこのセリフを受け止めてしまいます。なぜならこれは創作におけ

る「役割語」※2であり、リアルな言葉とは異なることを経験的に知っているからです。子供の頃から絵本の中で、おじいさんは語尾が「…じゃ」となるものと刷り込まれているのと同じ。実際の自分のおじいさんはそんな風には話しませんよね。

小説の世界でも同じことが言えるようです。小説家の清水義範氏がこんなことを言っています。

小説の中の会話は、小説用に再構成された虚構のことばである。私などは、なるべくそういう型としてのことばではなく、リアルなことばを書きたいと思っているのだが、それでも完全にそう書けるわけではない。そのことの、最も端的な例が、女性の台詞である。～中略～「やめろってば。うっとうしい奴だなあ」こういうことば、すべて女性もこのようにしゃべっているのである。ところが小説には、なかなかそうは書けない。～中略～ついつい、型としての女性ことばをしゃべらせてしまう。「やめてってば。うっとうしい人ねえ」と。

（清水義範著『日本語必笑講座』講談社文庫）

確かに、男性と区別がつきづらい言葉話す女性が増えていくかもしれません。創作の世界でリアルを追求したら、かえって伝わりにくいこともあるということです。まるちゃんのおじいちゃん、友蔵※3にはやっぱり「まる子や、意味のないことをたくさんするのが人生なんじゃよ。」なんて感じで話してほしいですからね。

- ※1：「エースをねらえ!」は、山本鈴美香のスポーツ漫画。1973年から1975年および1978年から1980年まで『週刊マーガレット』に連載された。出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』
- ※2：役割語（やくわりご）とは、話者の特定の人物像（年齢・性別・職業・階層・時代・容姿・風貌・性格など）を想起させる特定の言葉遣いである。主にフィクションにおいてステレオタイプに依存した仮想的な表現をする際に用いられる。日本語学者の金水敏が提唱した。出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』
- ※3：『ちびまる子ちゃん』（さくらももこ作、りばんマスコットコミックス）の登場人物。主人公まる子の祖父。

校正の現場から。

学校関係の文書には、しばしば職階が記載されています。

2007年、学校教育法が改正され、大学教員の職階も一部変わりました。

しかし5～6年前でしか、私は大学教員の職階と名前が並んだ文書を見て、「助教ってなんだろう。助教授の授を省略したのかな。じゃあ、講師の下に名前があるのは変じゃないの?」と思ったのです、お恥ずかしいことに。ご存じの通り、助教は旧助手から新たにできた職階であり、助教授も今は准教授と呼ばれますね。調べずに赤字を入れていたら大変でした。

ものごとを「見える化」すると、仕事がやりやすくなる

夏の夏から、Web制作の仕事がぐっと進めやすくなりました。プロジェクトごとに自分の仕事が見える化できるようにしたので、毎朝進行中のプロジェクトで自分が何をしたらよいのか“ぱっ”と確認できるからです。

今までと何が違うかと言うと、「Backlog（バックログ）」というプロジェクト管理のためのWebツールを導入したのです。

Backlogを使うようになって変わったと実感できたことは、人は理由がわかると自主的に問題を解決しようとするということです。

それまでは、メーリングリストを使ってプロジェクトの管理をしていました。でも、それだけだとスタッフ同士で問題の共有がしづらかったのです。

今は、下記の図のようにプロジェクトの中で課題ごとに、進行状況がわかるようになっています。

システムが淡々と状況をメールでも知らせてくれるので、まずは自分で状況がわかります。ほかのメンバーも遅れているときなど、指摘するストレスが減ったと思います。

たとえば、私の作業分が遅れているとしましょう。自分で気づいてすぐに取り掛かることもできますし、ほかのメンバーから問い合わせをもらうことになるかもしれません。

あるいは、担当している仕事量とスケジュールがあってなければ、スタッフ全員で話し合いをして違う人が担当することもできます。とにかく、状況がすぐにわかるので、問題の原因を探しやすくなりましたし、対処がしやすくなりました。

もちろん、いろいろな事情があるので、予定通りにならないこと自体は想定内のことです。が、なぜそうなっているのかを共有できないのが問題なのです。次の手を打つことができないからです。

実際に問題があるけれど理由がわからないときは、それほど関心がなく、自分から何とかしようという気持ちになかなかならないものです。ですが、情報共有ができていると、お互いに確認もしやすく、結果として進行がスムーズになるのだと思います。

最近の私は、「課題」をすべて「未処理」から「完了」状態に変える瞬間に喜びを感じています。

スタッフはそれを知っていて、私に「完了」操作をさせてくれるのでした。



自社サイトのリニューアルの課題の一覧を表示したところ

Review of CREATION 正文舎の制作事例

《今回のお客さま》
株式会社キッチンワークス様

キッチンワークス様とのお付き合いは2015年から。

それ以前からWebマーケティングに取り組んでおられたキッチンワークス様、厳しいリフォーム業界の中で、キッチンなどの水廻りに特化し、広告費はほとんどかけずに、ご紹介とWebで集客されています。

弊社では、下記のWebサイト制作～保守、パンフレット制作・印刷、その他チラシや伝票類の印刷も担当しております。

WEBサイト

●札幌オーダー家具工房《新規制作》

<http://www.order-kagu-sapporo.com/>



職人さんの顔を出し、
信頼していただくことを念頭に
全体のデザインや構成を考えています。

●札幌オーダーカーテン工房《新規制作》

<https://www.sapporo-curtain.com/>

競合他社との差別化の分析を行い、
強みをわかりやすく打ち出すようにして
います。
また、弊社のデザインテンプレートを
流用した制作で、コンパクトなご予算で
構築できました。



WEBサイト

●株式会社キッチンワークス様 公式サイト《リニューアル》

<https://www.ktn-works.com/>

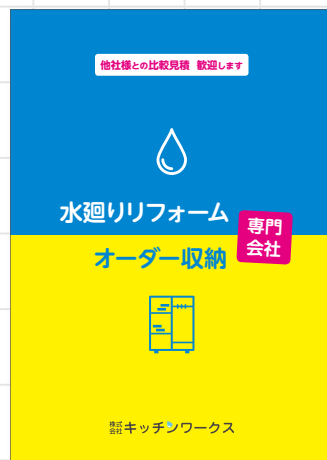


それまで他社で制作されたWebサイトでしたが、SEOが弱まってきたこともあり、2019年に弊社でフルリニューアルいたしました。
Web集客の肝である公式サイト、「キッチン リフォーム 札幌」でそれまで4～7位だった検索順位が、2019年1月に公開後から少しずつ上がり始め、4月頃には1位まで上がりました。
TOPページには施工事例が自動的に表示され、かつ、事例数が自動的に表示されるようにしています。

Before



パンフレット



盲導犬チャリティーCUDカレンダー2020 仕様

おもて面：CUDカレンダー

年齢や身体能力に関係なく、どなたにも見やすいCUD(カラーユニバーサルデザイン)の考え方で作られた卓上カレンダーです。

●ココに御社の社名が入ります。
10mm(たて)×156mm(よこ)の範囲内

うら面：盲導犬フォトカード

ピンナップとして飾っていただけるように、かわいい盲導犬を大きく載せたフォトカードにしました。

フィルム封筒で個別に包装されています。

ケースは簡単に組み立てることが出来ます。

オフィスにピッタリの大きさに癒されます。

※デザインは変更になる場合がございます。

部数	単価	金額
100	@600. ⁰⁰	60,000円
300	@580. ⁰⁰	174,000円
500	@560. ⁰⁰	280,000円
1,000	@535. ⁰⁰	535,000円

価格表(税別)

お問い合わせ・ご注文は、営業部 徳永まで。

【本社】011-811-7151 【携帯】080-2876-0175
【E-mail】m.tokunaga@syoubunsya.co.jp

《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]
〒003-0802
北海道札幌市白石区菊水2条1丁目4番27号
TEL.011-811-7151
FAX.011-813-2581

[東京オフィス]
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7
オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016
FAX.03-5413-4017

取扱い品目

印刷事業

【商業印刷物】

[情 報 系] パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）

[物流資材系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル

【出版印刷】

[書 籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本

[雑 誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌

[新 聞] 各種業界新聞、学校新聞

[学 参 系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌

[自 費 出 版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集

【業務用印刷】

伝票・帳票各種、オンデマンド／バリアブル、小ロット印刷、賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール

情報メディア事業（WEBサクセス） <https://www.websuccess.jp/>

各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理

賞状net事業

賞状・表彰状等のインターネット通販サイトの運営

私たちは、令和元年5月1日、創業85周年を迎えました。



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定のメディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの資格を持った制作者が多く在籍しています。



紙には古紙80%再生紙のOKマットコートエコグリーンを使用しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



P-00023

全日本印刷工業組合連合会によるCSR認定制度の基準を達成しています。



IS 618840/ISO 27001

ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014 情報セキュリティマネジメントシステムの認証取得をしています。



ぶらねっと
©2008 syoubunsysa.inc

★ぶらねっとクンは、正文舎の業務や取組を紹介するときにどこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

情報をクリエイト

株式会社 正文舎

札幌本社 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京OFFICE 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

※本誌はデジタル印刷機 Ricoh Pro C7200sにおいて、表紙にクリアトナーを使用し、オンデマンド印刷・インライン製本をしています。

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative & Art Director ■ Narita Sadayuki
Chief Editor ■ Ebina Mikiko
A to Z Writer & Editor ■ Narita Sadayuki
Topics Writer & Editor ■ Honma Kazumi
New & Goods Writer ■ Shirafuji Saori
Focus on JAPANESE Writer ■ Kurita Miyuki
Review of CREATION Writer ■ Ebina Mikiko
Editor ■ Tokunaga Moe
Photographer ■ Himukai Atsushi
Digital Printing ■ Narita Sadayuki

CR_labo in SYOUBUNSYA